

# CASBEE<sup>®</sup>-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ガーラ川口並木 新築工事	階数	地上12F
建設地	埼玉県川口市	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域・商業地域・準防火地域	平均居住人員	99人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年3月 予定	評価の実施日	2024年3月26日
敷地面積	613㎡	作成者	稲村 崇
建築面積	293㎡	確認日	2024年3月26日
延床面積	2,874㎡	確認者	稲村 崇



ください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p><b>BEE = 0.7</b></p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>★☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	<p>Q2 サービス性能 5</p> <p>Q1 室内環境 4</p> <p>Q3 室外環境(敷地内) 3</p> <p>LR1 エネルギー 2</p> <p>LR2 資源・マテリアル 1</p> <p>LR3 敷地外環境 1</p>

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p><b>Q 環境品質</b> Qのスコア= 2.7</p>		
<p><b>Q1 室内環境</b> Q1のスコア= 3.1</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b> Q2のスコア= 3.0</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b> Q3のスコア= 1.8</p>
<p><b>LR 環境負荷低減性</b> LRのスコア= 2.7</p>		
<p><b>LR1 エネルギー</b> LR1のスコア= 2.7</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b> LR2のスコア= 2.7</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b> LR3のスコア= 2.8</p>

3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b></p> <p>室内環境を考慮し、又、植栽等緑の量の確保を計画</p>		<p><b>その他</b></p> <p>環境性能表示のラベル表示基準として</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・LEDの採用</li> </ul>
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(共用部・住居部) 遮音性能T-2以上</li> <li>・(住居部分) 昼光率2%以上 (3.5%)</li> <li>・(住居部分) カーテン、庇の2種類を組み合わせて制御</li> <li>・(住居部分) 居室面積1/6以上の開閉可能な窓</li> </ul>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Cat-5e (Gigabit Ethernet 対応) 以上で建物LAN構築</li> <li>・維持管理に配慮</li> </ul>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <p>特になし</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>特になし</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発泡剤(断熱材等) ODP=0 を使用</li> </ul>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>特になし</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

**CASBEE-建築(新築)2016年版**  
**(仮称)ガーラ川口並木 新築工事**

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版  
 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
<b>Q 建築物の環境品質</b>									<b>2.7</b>
<b>Q1 室内環境</b>					0.40		-		<b>3.1</b>
<b>1 音環境</b>				<b>4.0</b>	1.00	<b>3.3</b>	1.00		<b>3.4</b>
1.1 室内騒音レベル				<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.50		
1.2 遮音				<b>5.0</b>	0.50	<b>3.6</b>	0.50		
1 開口部遮音性能		(共用部・住居部)遮音性能T-2以上		5.0	1.00	5.0	0.30		
2 界壁遮音性能				3.0	-	3.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	-	3.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-	3.0	0.20		
1.3 吸音									
<b>2 温熱環境</b>				<b>2.6</b>	0.35	<b>3.0</b>	1.00		<b>2.8</b>
2.1 室温制御				<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.50		
1 室温				3.0	0.63	3.0	0.63		
2 外皮性能				3.0	0.38	3.0	0.38		
3 ゾーン別制御性									
2.2 湿度制御				<b>1.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	0.20		
2.3 空調方式				3.0	0.30	3.0	0.30		
<b>3 光・視環境</b>				<b>2.7</b>	0.25	<b>3.4</b>	1.00		<b>3.2</b>
3.1 昼光利用				<b>3.0</b>	0.30	<b>3.4</b>	0.30		
1 昼光率		(住居部分)昼光率2%以上(3.5%)		-	-	5.0	0.50		
2 方位別開口						1.0	0.30		
3 昼光利用設備				3.0	1.00	3.0	0.20		
3.2 グレア対策				<b>2.0</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.30		
1 昼光制御		(住居部分)カーテン、庇の2種類を組み合わせる制御		2.0	1.00	4.0	1.00		
3.3 照度				<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	0.15		
3.4 照明制御				<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	0.25		
<b>4 空気質環境</b>				<b>3.0</b>	0.25	<b>3.2</b>	1.00		<b>3.1</b>
4.1 発生源対策				<b>3.0</b>	0.60	<b>3.0</b>	0.63		
1 化学汚染物質				3.0	1.00	3.0	1.00		
4.2 換気				<b>3.0</b>	0.40	<b>3.6</b>	0.38		
1 換気量				3.0	0.50	3.0	0.33		
2 自然換気性能		(住居部分)代表住戸タイプ、居室面積1/6以上の開閉可能な窓		3.0	-	5.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.50	3.0	0.33		
4.3 運用管理									
1 CO <sub>2</sub> の監視									
2 喫煙の制御									
<b>Q2 サービス性能</b>				-	0.30	-	-		<b>3.0</b>
<b>1 機能性</b>				<b>2.4</b>	0.40	<b>3.4</b>	1.00		<b>3.1</b>
1.1 機能性・使いやすさ				<b>3.0</b>	0.40	<b>5.0</b>	0.60		
1 広さ・収納性									
2 高度情報通信設備対応		Cat-5e(Gigabit Ethernet対応)以上で建物LAN構築。		3.0	-	5.0	1.00		
3 バリアフリー計画				3.0	1.00				
1.2 心理性・快適性				<b>1.0</b>	0.30	<b>1.0</b>	0.40		
1 広さ感・景観				3.0	-	1.0	0.50		
2 リフレッシュスペース									
3 内装計画				1.0	1.00	1.0	0.50		
1.3 維持管理				<b>3.0</b>	0.30				
1 維持管理に配慮した設計		内装仕上げ:内壁面は防汚性の高い仕上げ方法や建材、塗装、コーティングを採用 等 計6項目にて評価		4.0	0.50				
2 維持管理用機能の確保				2.0	0.50				
<b>2 耐用性・信頼性</b>				<b>3.1</b>	0.30				<b>3.1</b>
2.1 耐震・免震・制震・制振				<b>3.0</b>	0.50				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80				
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20				
2.2 部品・部材の耐用年数				<b>3.7</b>	0.30				
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		タイル貼 40年		5.0	0.20				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		ビニルクロス貼 20年		4.0	0.10				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		硬質塩化ビニル管にて評価		5.0	0.20				
6 主要設備機器の更新必要間隔				2.0	0.20				
2.4 信頼性				<b>2.6</b>	0.20				
1 空調・換気設備				3.0	0.20				
2 給排水・衛生設備				2.0	0.20				
3 電気設備				3.0	0.20				
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20				
5 通信・情報設備				2.0	0.20				

<b>3 対応性・更新性</b>		<b>3.0</b>	0.30	<b>2.6</b>	1.00	<b>2.7</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>						
1 階高のゆとり		3.0	-	3.0	0.50	
2 空間の形状・自由さ		3.0	-	1.0	0.40	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>		<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	0.50	
<b>3.3 設備の更新性</b>		<b>3.0</b>	1.00			
1 空調配管の更新性		3.0	0.20			
2 給排水管の更新性		3.0	0.20			
3 電気配線の更新性		3.0	0.10			
4 通信配線の更新性		3.0	0.10			
5 設備機器の更新性		3.0	0.20			
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20			
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>		-	0.30	-	-	<b>1.8</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>		<b>1.0</b>	0.30			<b>1.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>		<b>2.0</b>	0.40			<b>2.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>		<b>2.5</b>	0.30			<b>2.5</b>
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50			
3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50			
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>						<b>2.7</b>
<b>LR1 エネルギー</b>		-	0.40	-	-	<b>2.7</b>
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>		<b>3.0</b>	0.20			<b>3.0</b>
<b>2 自然エネルギー利用</b>		<b>2.0</b>	0.10			<b>2.0</b>
<b>3 設備システムの高効率化</b>	[BEI][BEIm] = 1.03	<b>2.7</b>	0.50			<b>2.7</b>
<b>4 効率的運用</b>		<b>3.0</b>	0.20			<b>3.0</b>
集合住宅以外の評価						
4.1 モニタリング		3.0	-			
4.2 運用管理体制		3.0	-			
集合住宅の評価		<b>3.0</b>	1.00			
4.1 モニタリング		3.0	0.50			
4.2 運用管理体制		3.0	0.50			
<b>LR2 資源・マテリアル</b>		-	0.30	-	-	<b>2.7</b>
<b>1 水資源保護</b>		<b>3.0</b>	0.20			<b>3.0</b>
1.1 節水		<b>3.0</b>	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		<b>3.0</b>	0.60			
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70			
2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30			
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>		<b>2.4</b>	0.60			<b>2.4</b>
2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10			
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20			
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20			
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20			
2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10			
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.20			
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>		<b>3.3</b>	0.20			<b>3.3</b>
3.1 有害物質を含まない材料の使用		<b>3.0</b>	0.30			
3.2 フロン・ハロンの回避		<b>3.5</b>	0.70			
1 消火剤		-	-			
2 発泡剤(断熱材等)	ODP=0	4.0	0.50			
3 冷媒		3.0	0.50			
<b>LR3 敷地外環境</b>		-	0.30	-	-	<b>2.8</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>		<b>2.8</b>	0.33			<b>2.8</b>
<b>2 地域環境への配慮</b>		<b>2.8</b>	0.33			<b>2.8</b>
2.1 大気汚染防止		<b>3.0</b>	0.25			
2.2 温熱環境悪化の改善		<b>3.0</b>	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制		<b>2.5</b>	0.25			
1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25			
2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25			
3 交通負荷抑制		2.0	0.25			
4 廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25			
<b>3 周辺環境への配慮</b>		<b>3.0</b>	0.33			<b>3.0</b>
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>		<b>3.0</b>	0.40			
1 騒音		3.0	1.00			
2 振動		-	-			
3 悪臭		-	-			
<b>3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制</b>		<b>3.0</b>	0.40			
1 風害の抑制		3.0	0.70			
2 砂塵の抑制		1.0	-			
3 日照障害の抑制		3.0	0.30			
<b>3.3 光害の抑制</b>		<b>3.0</b>	0.20			
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70			
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30			

# CASBEE埼玉県

# 重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

## 1 建物概要

建物名称	(仮称)ガーラ川口並木 新築工事	BEE	0.7	BEEランク	★★
------	------------------	-----	-----	--------	----

## 2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
2.8	+	2.3	=	5.1 
重点項目の各スコアの合計点				
がらんぼう 6.0未満	良い 6.0以上	非常によい 6.8以上	すばらしい 8.0以上	
	 	  	   	

## 3 重点項目についての環境配慮概要

<b>(1) ライフサイクルCO2の削減</b>		スコア平均	2.8
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	2.8
<配慮した内容を記述> 特になし			
<b>(2) 緑の保全・創出</b>		スコア平均	2.3
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	1.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
<配慮した内容を記述>			

:入力欄